

6月30日に人間力大學へ行ってまいりました。
場所は東京都渋谷区の文化総合センター

人間力大學というのは独自の朝禮で、TVに取り上げられた居酒屋「てっぺん」創設者、大嶋啓介氏が学長として立ち上げた「究極の学びの場」です。大嶋氏がこれまで出会ってきた方々を講師として招き、月1回開催しているものです。

今回、講師として壇上へあがられたのは、九州は博多を拠点とし、全国展開、果ては海外出店にも成功している「博多一風堂」の代表・河原成美氏です。講義は河原氏の歩んできた軌跡の中で気付いた「目標の設定とそれを達成するための行動」について面白可笑しく披露していただきました。**目標を設定したらやり遂げる気持ちの強さ**に感動を覚えました。

業種は違いますが、人間の根幹となる部分のあり方を学べる講義でした。
もしご興味がございましたら、是非一度御参加してみてはいかがでしょうか。

河原 成美氏

ラーメンチェーンの博多一風堂などを運営する力の源カンパニー創業者。福岡県出身。
九州産業大学商学部商学科卒業後、量販店勤務、コック見習いなどを経てレストランバー「アフター・ザ・レイン」を開店。その後、博多一風堂を開店し、同店を全国の人気店へと成長させた。



人間力大學
ホームページ
URL:<http://ningenryokudaigaku.com/>

「人間力大學」に参加しました

春日部センター
営業主任 加川和孝

素晴らしいお話と美味しいラーメン、
なんて運がいいのでしょうか~



に参加しました

余談になりますが…

講義の最後に河原氏のご厚意で、ご提供いただいた一風堂のカップラーメン(12個入り1ケース)を抽選で配布というイベントが開催されました。そこで運よく当選した20名の中に、私の名前が!! 河原氏より手渡しで頂戴し、握手もしていただきました。非常にうれしいサプライズだったのですが、帰りの電車の中でラーメン1ケースを抱える私の姿はシールだつたと思われます(笑)

マイナンバー通知 平成27年10月開始(予定)

○マイナンバー制度とは?

マイナンバー制度は、住民票を有する国民ひとりひとりに割り当てられ、社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人情報が同一人であることを確認するために活用されるものです。**平成28年1月以降**、国内の全企業が税や社会保障の手続きで対応を義務付けられます。このマイナンバーを漏洩させた場合、違反者だけでなく事業主も処罰される可能性があります。

○マイナンバーはどのように利用される?

国の行政機関や地方公共団体などにおいて、マイナンバーは、社会保障、税、災害対策の分野で利用されます。

年金・雇用保険・医療保険の手続、生活保護・児童手当その他福祉の給付、確定申告などの税の手続などで、申請書等にマイナンバーの記載を求められます。

また、税や社会保険の手続きにおいては、事業主や証券会社、保険会社などが個人に代わって手続きを行われる場合もあります。このため、勤務先や証券会社、保険会社などの金融機関にもマイナンバーの提出を求められる場合があります。